

履修方法 (卒業資格取得のための最低単位数)

本学は臨床教育学部 教育学科・児童教育学科の2学科と経営教育学部 経営教育学科で構成されている。各学科の授業科目は基礎教養科目、外国語科目、保健体育科目、専門教養科目からなっている。卒業に必要な単位数およびその内容は次の一覧表のとおりである。

卒業要件区分および単位数一覧表 (数字は単位数)

区 分		臨床教育学部		経営教育学部
		教 育 学 科	児 童 教 育 学 科	経 営 教 育 学 科
基礎教養科目	必 修	—	—	2
	選 択	12	12	10
	小 計	12	12	12
外国語科目	英語、ドイツ語、韓国朝鮮語、日本語	4	4	4
保健体育科目	健康スポーツ科学概論	2	2	2
専門教養科目	必 修	16	24	18
	選 択	90	82	88
	小 計	106	106	106
総 計		124	124	124

基礎教養科目（全学部全学科共通）

基礎教養科目は卒業に必要な 12 単位を修得しなければならない。

基礎教養科目開講一覧表

科目	単位	学年	分類
哲学入門	2	1	A 群
倫理学入門	2	1	A 群
心理学入門	2	1	A 群
社会学入門	2	1	B 群
経済学入門	2	1	B 群
生物学入門	2	1	C 群
数理学入門	2	1	C 群
物理学入門	2	1	C 群
スポーツ教育学入門	2	1	D 群－教
経営学入門	2	1	D 群－経
児童教育入門	2	1	D 群－児

《目的》

各研究分野の主な基礎的知識を学ぶとともに、各学科の専門教養につながる教養を身につける。

A 群「人文科学分野」 B 群「社会科学分野」 C 群「自然科学分野」 D 群「各学科が必要と考える基礎科目」の分類

《単位修得》

12 単位を修得すること。（卒業単位に必要）

上表の区分欄 A 群から C 群よりそれぞれ履修し、D 群より所属する学科の開講科目を含め履修することが望ましい。

経営教育学部経営教育学科の学生は「経営学入門」を必修とする。（卒業単位に必要）

科目はすべて 60 人定員で履修登録を受け付けるので、抽選科目対象の履修登録で申し込むこと。

12 単位以上修得しても、基礎教養科目の卒業に必要な単位には算入されない。

外国語科目（全学部全学科共通）

卒業に必要な外国語科目の単位は次のとおりである。

科目	単位	学年	科目	単位	学年	科目	単位	学年	科目	単位	学年
英語 A	2	1	ドイツ語 A	2	1	韓国朝鮮語 A	2	1	日本語	2	1
英語 B	2	1	ドイツ語 B	2	1	韓国朝鮮語 B	2	1	日本語	2	1

「外国語科目」

《単位修得》

- 履修年度に開講されている語学より 2 科目を選択し 4 単位を必修すること。（卒業単位に必要）
- 教職課程履修者は、当該年度で開講されている英語 A・ドイツ語 A のうちいずれか 1 科目を必修とすること。
- 当該年度で開講されている外国語科目（日本語 I II を除く）は、履修人数を定めて、履修登録を受け付けるので、抽選科目対象の履修登録で申し込むこと。
- 日本語 I II は、外国人留学生のみの開講科目とし、2 科目 4 単位を必修すること。

保健体育科目（全学部全学科共通）

卒業に必要な保健体育科目の単位は次のとおりである。

科目	単位	学年
健康スポーツ科学概論	2	1

「保健体育科目」

《単位修得》

- 健康スポーツ科学概論 2 単位を必修すること。（卒業単位に必要）

大学生活入門・キャリア基礎・キャリアデザイン I・II（全学部全学科共通）

1 年生及び 2 年生に設置し、学則上は専門教養科目の選択科目であるが、全学生が必ず履修しなければならない。学生及び教員の編成において、最大限に教育効果が発揮できることを第一に考慮する。

（注 1）詳細については、履修指導の際に説明する。

（注 2）再履修はできない。

専門教養科目

専門教養科目は必修科目、選択科目の分野より構成され、次の表のように定められた卒業に必要な単位数を修得しなければならない。

専門教養科目履修単位数一覧表

分野	臨床教育学部		経営教育学部
	教育学科	児童教育学科	経営教育学科
必修	16	24	18
選択	90	82	88
計	106	106	106

各学部学科の専門教養科目については、以降の通りとする。

全学部・学科 共通開講科目（専門教養科目 選択科目）

別表 (1) -2 専門カリキュラム（共通）

分類	科目	単位	学年	分類	科目	単位	学年			
専門教養科目（全学共通）	グローバルラーニング科目群	Cross-Cultural Understanding	2	1	専門教養科目（全学共通）	キャリア教育科目群	大学生活入門	2	1	
		English Presentation	2	1			キャリア基礎	2	1	
		Intermediate English Reading	2	1			簿記入門	2	1	
		Intermediate English Writing	2	1			簿記論	2	1	
		Practical English A	2	1			キャリアデザイン I	2	2	
		Practical English B	2	1			キャリアデザイン II	2	2	
		海外語学研修	4	1			ビジネスマナー	2	2	
		※日本語漢字・語彙 I	2	1			インターンシップ	1	—	
		※日本語聴解・会話 I	2	1			情報科目群	情報機器の操作	2	1
		※日本語聴解・会話 II	2	1				情報処理技法 I（表計算）	2	2
		※日本語読解 I	2	1				情報処理技法 II（表計算）	2	2
		※日本語読解 II	2	1				情報処理技法 I（文書作成）	2	2
		※日本語文章表現 I	2	1	情報処理技法 II（文書作成）	2		2		
		※日本語事情演習	2	1	情報リテラシー	2		2		
		※留学事情演習 A	2	1						
		※留学事情演習 B	2	1						
		Advanced English Reading	2	2						
		Advanced English Writing	2	2						
		English Debate	2	2						
		English Discussion I	2	2						
		※日本語漢字・語彙 II	2	2						
		※日本語特別演習 I	2	2						
		※日本語特別演習 II	2	2						
		※日本語文章表現 II	2	2						
		※日本語文章表現 III	2	2						
		English Discussion II	2	3						

【履修方法】全学部学科共通

1. 上表の全学部・学科共通開講科目（専門教養科目 選択科目）（以下「学部学科共通選択科目」という）は、2017年4月より在籍している全ての学生を対象とする。
2. 上表の学部学科共通選択科目で修得した単位は、学則第7条の卒業要件単位の専門教養科目選択の単位に加えられる。
 - 教育学科では、専門教養科目選択 90 単位の中に加えられる。
 - 児童教育学科では、専門教養科目選択 82 単位の中に加えられる。
 - 経営教育学科では、専門教養科目選択の 88 単位の中に加えられる。
3. グローバルラーニング科目群の※印の科目は、外国人留学生のみ履修登録し修得することができる科目とする。（外国人留学生は、在学中に履修登録し学修することを必須とする。）
4. キャリア教育科目群の「1 年生前期 大学生活入門」「1 年生後期 キャリア基礎」「2 年生前期 キャリアデザイン I」「2 年生後期 キャリアデザイン II」は、全学生が必ず履修しなければならない。
5. 情報科目群の「情報機器の操作」は、経営教育学科は、必修科目とする。（卒業単位に必要）
6. 情報科目群の「情報機器の操作」は、教育職員免許状の取得を希望する場合は、必修すること。

臨床教育学部 教育学科

教育学科専門教養科目一覧表

分野	学科目	単位	学年	分野	学科目	単位	学年	分野	学科目	単位	学年	分野	学科目	単位	学年
必修	教育学概論Ⅰ【中等】	2	1	選択	ダンス表現Ⅲ(ハウス)基礎	1	1	選択	ガールズヒップホップⅠパフォーマンス	1	2	選択	障害者スポーツ概論	2	2
	教育学研究法	2	2		ダンス表現Ⅳ(ハウス)作品	1	1		外国史概論Ⅰ	2	2		生涯スポーツ実習B	2	2
	専門演習Ⅰ	4	3		ダンス表現Ⅴ(コンテンポラリー)基礎	1	1		外国史概論Ⅱ	2	2		スタイルヒップホップⅠ基礎	1	2
	専門演習Ⅱ	4	4		ダンス表現Ⅵ(コンテンポラリー)作品	1	1		学校保健(小児保健含む)	2	2		スタイルヒップホップⅡ作品	1	2
	卒業論文	4	4		t a p & リズムトレーニング	2	1		キッズスポーツ	2	2		スポーツデータ分析	2	2
選択	運動生理学	2	1	チームビルディング	1	1	教育行政学【中等】	2	2	教育心理学研究法Ⅰ	2	2	スポーツマネジメント論	2	2
	学校ボランティア	2	1	哲学概論Ⅰ	2	1	教育社会学	2	2	教育心理学研究法Ⅱ	2	2	生理学	2	2
	教育学概論Ⅱ	2	1	哲学概論Ⅱ	2	1	教育心理学研究法Ⅰ	2	2	教育心理学研究法Ⅱ	2	2	世界教育史	2	2
	教育心理学Ⅰ【中等】	2	1	特別講義Ⅰ	2	1	教育心理学研究法Ⅱ	2	2	教育心理学実Ⅰ	2	2	球技B	1	2
	教育心理学Ⅱ	2	1	特別講義Ⅱ	2	1	教育心理学実Ⅱ	2	2	教育心理学実Ⅱ	2	2	球技C	1	2
	教職論【中等】	2	1	ヒップホップⅠ基礎	1	1	教育心理学実Ⅱ	2	2	教育の方法と技術【中等】	2	2	体育実技C	1	2
	コーチ学総論	2	1	ヒップホップⅡ作品	1	1	教育方法学	2	2	経済学概論Ⅰ	2	2	体力測定と評価	2	2
	コーチング法基礎	2	1	ピアノ入門講座Ⅰ	1	1	経済学概論Ⅱ	2	2	経済学概論Ⅱ	2	2	ダンス表現Ⅶ(ワック)基礎	1	2
	健康スポーツ科学実習	1	1	ピアノ入門講座Ⅱ	1	1	芸術総論	2	2	国際経済学Ⅰ	2	2	ダンス基礎Ⅷ(ワック)作品	1	2
	ジャズⅠ基礎	1	1	武道A	1	1	国際経済学Ⅱ	2	2	コーチング法演習A(サッカー)	2	2	中等教科教育法Ⅰ(社会)	2	2
	ジャズⅡ作品	1	1	武道B	1	1	国際経済学Ⅱ	2	2	コーチング法演習B(バスケットボール)	2	2	中等教科教育法Ⅱ(社会)	2	2
	生涯スポーツ実習A	2	1	ボディートレーニング(バレエ)Ⅰ	1	1	国際経済学Ⅱ	2	2	コーチング法演習C(テニス)	2	2	中等教科教育法Ⅰ(保健体育)	2	2
	スポーツ栄養学	2	1	ボディートレーニング(バレエ)Ⅱ	1	1	児童心理学Ⅰ	2	2	児童心理学Ⅱ	2	2	中等教科教育法Ⅱ(保健体育)	2	2
	スポーツ社会学	2	1	ボディートレーニング(ジャイロキネシス)Ⅰ	1	1	ジュニアスポーツ	2	2	ジャズⅢパフォーマンス	1	2	地域とスポーツ	2	2
	スポーツ心理学	2	1	ボディートレーニング(ジャイロキネシス)Ⅱ	1	1	ジャズⅣパフォーマンス	1	2	特別講義Ⅲ	2	2	地理学概論Ⅰ	2	2
	球技A	1	1	ボディートレーニング(ピラティス)Ⅰ	1	1	特別講義Ⅳ	2	2	特別活動の指導法(総合的な学習を含む)【中等】	2	2	地理学概論Ⅱ	2	2
	体育実技A	1	1	ボディートレーニング(ピラティス)Ⅱ	1	1							都市社会学Ⅰ	2	2
	体育実技B	1	1	ICT活用の理論と方法	1	2							都市社会学Ⅱ	2	2
	ダンスの基礎知識	2	1	運動学(運動方法学含む)	2	2							特別講義Ⅲ	2	2
	ダンス表現Ⅰ(ロック)基礎	1	1	運動プログラム演習	2	2							特別講義Ⅳ	2	2
	ダンス表現Ⅱ(ロック)作品	1	1	ガールズヒップホップⅠ基礎	1	2							特別活動の指導法(総合的な学習を含む)【中等】	2	2

分野	学科目	単位	学年	分野	学科目	単位	学年	分野	学科目	単位	学年	分野	学科目	単位	学年
選択	道徳教育の指導法【中等】	2	2	選択	教育哲学Ⅰ	2	3	選択	スポーツ指導者演習D	1	3	選択	日本史概論Ⅱ	2	3
	日本教育史	2	2		教育哲学Ⅱ	2	3		スポーツ統計学	2	3		部活動指導論	2	3
	人間関係論Ⅰ	2	2		健康運動実践演習Ⅰ	2	3		スポーツマネジメント演習Ⅰ	2	3		学習心理学Ⅰ	2	4
	人間関係論Ⅱ	2	2		健康運動実践演習Ⅱ	2	3		スポーツマネジメント演習Ⅱ	2	3		学習心理学Ⅱ	2	4
	発育・発達学	2	2		健康運動実践演習Ⅲ	2	3		スポーツリハビリテーション概論	2	3		教職実践演習【中・高】	2	4
	発達心理学Ⅰ	2	2		国際政治学Ⅰ	2	3		政治学概論Ⅰ	2	3		視聴覚教育Ⅰ	2	4
	発達心理学Ⅱ	2	2		国際政治学Ⅱ	2	3		政治学概論Ⅱ	2	3		視聴覚教育Ⅱ	2	4
	武道論A	2	2		国際法Ⅰ	2	3		精神保健Ⅰ	2	3		特別講義Ⅶ	2	4
	武道論B	2	2		国際法Ⅱ	2	3		精神保健Ⅱ	2	3		視聴覚教育Ⅱ	2	4
	法律学概論Ⅰ	2	2		コーチング演習	2	3		生徒・進路指導の理論と方法	2	3		特別講義Ⅶ	2	4
	法律学概論Ⅱ	2	2		コーチング論	2	3		体育原理	2	3		特別講義Ⅷ	2	4
	倫理学概論Ⅰ	2	2		社会学概論Ⅰ	2	3		地誌学概論Ⅰ	2	3		特別支援教育総論【中等】	1	4
	倫理学概論Ⅱ	2	2		社会学概論Ⅱ	2	3		地誌学概論Ⅱ	2	3		日本文化史研究Ⅰ	2	4
	安全教育及び救急法	2	3		宗教学概論Ⅰ	2	3		中等教科教育法Ⅱ(社会・公民)	2	3		日本文化史研究Ⅱ	2	4
	衛生学・公衆衛生学	2	3		宗教学概論Ⅱ	2	3		中等教科教育法Ⅲ(保健体育)	2	3		放送教育Ⅰ	2	4
	カウンセリング心理学Ⅰ	2	3		スポーツ医学	2	3		中等教科教育法Ⅳ(保健体育)	2	3		放送教育Ⅱ	2	4
	カウンセリング心理学Ⅱ	2	3		スポーツ経営管理学	2	3		特別講義Ⅴ	2	3				
	教育課程論【中等】	2	3		スポーツコンディショニング	2	3		特別講義Ⅵ	2	3				
	教育実習	4	3		スポーツ指導者演習A	1	3		トレーニング演習	1	3				
	教育実習事前・事後指導	1	3		スポーツ指導者演習B	1	3		日本国憲法	2	3				
	教育相談の理論と方法【中等】	2	3		スポーツ指導者演習C	1	3		日本史概論Ⅰ	2	3				

(注1) 教職課程履修者は、後掲の教職課程履修方法を参照すること。

教育学科

◇コース及びコース内履修科目（選択による専門教養科目の履修）

学生が天賦の才能を発見し、教育学などの方法を用いて総合的に人間と社会を研究することを通して、人類文化の創造に寄与する人物を育成する。5コース（A教育学コース・B心理学コース・Cスポーツ教育コース・D地域スポーツ指導者コース・Eダンスコース）いずれかの専修コースを選択し、コースごとに推奨する専門教養科目を中心に履修計画をたてる。

本学科では、専修コースに関係なく、中学校教諭（社会・保健体育）と高校教諭（公民・保健体育）の免許を取得できる。

※教職科目（履修は、免許の種類に応じて、別途履修するものとする。）

A教育学コース

教育について考えたり、教育現場で指導したりする場合に必要な基本的知識と技能を幅広く提供するコースである。教育学や関連分野の成果を踏まえて、総合的、実証的に学習する。将来、教育学の研究者、教師、その他、教育関係の活動や仕事に携わろうとする者を育てる。

B心理学コース

人間の発達や教育についての心理学的理解を目指す。その際、学習心理や発達心理、児童心理など教育系の心理学のみにとどまらず、臨床心理学概論など臨床系の心理学、さらには特別支援教育など幅広い観点から心理学を学び、もって人間について総合的的心理学的理解を深める。

Cスポーツ教育コース

人間の発達と教育における身体・健康に関する理論的理解を基礎に、教育におけるスポーツの意義と理論と実践において学ぶことを目的とする。とくに、中学校・高等学校の保健体育科の教員免許が取得できることから、将来教育に関わる仕事を希望する者を支援するコースである。

D地域スポーツ指導者コース

子どもから高齢者、障がい者などの人々を対象にした競技力向上から健康増進や日常の運動とその運営、管理が出来る人材と、生涯スポーツの視点から「するスポーツ」、「みるスポーツ」、「支えるスポーツ」について、多面的にスポーツに関する知識および技能を習得する。そして自身の得意とするスポーツの能力を活かして、地域のスポーツ運営や指導者、学校における部活動指導員など、地域スポーツ全般に発展に貢献できる人材を育成する。

◎「スポーツ教育コース」および「地域スポーツ指導者コース」では日本スポーツ協会のスポーツリーダーの資格、ジュニアスポーツ指導員受験資格、アシスタントマネージャー受験資格、公益財団法人健康・体力づくり事業団の健康運動実践指導者受験資格、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員資格を得ることができる。これらの資格に関しては別紙参照のこと。

Eダンスコース

多様なダンスをプロに学びながら、希望者には教員免許状が取得できる画期的なコースである。2012年中学校の体育授業においてダンスが必修化となり「現代的なリズムのダンス」が学校教育に取り入れられ、ダンスは今や多くのニーズを生んでいる。また、教員・指導者だけでなく、他のダンスパフォーマーや、一般企業への就職の可能性も開かれている。